

全日本女子柔道 あす開幕



牛方美羽



富田若春



朝比奈沙羅

体重無差別で争う柔道の全日本女子選手権は17日、世界選手権(10月・タシケント)78kg超級代表の最終選考会を兼ねて横浜武道館で行われる。東京五輪同級覇者の素根輝(パーク24)はけがで不在。昨年世界選手権優勝の朝比奈沙羅(ビッグツリー)と2位の富田若

春(コマツ)が軸で、両者は決勝まで当たらない。朝比奈は新型コロナウイルスの陽性判定で2日の全日本選抜体重別選手権を欠場し、2度目の世界一に輝いた昨年6月以来の実戦。医学生との両立を続けながら、176kg、140kgの巨体で強さを再び示せるか。

富田は昨年後半の両膝手術を乗り越えて復帰。切れ味鋭い技は健在で2月のグランドスラム・パリ大会、選抜体重別を連続で制して勢いに乗る。朝比奈が5年ぶり、富田が2年ぶりとなる2度目の制覇を果たせば代表入りが濃厚。国際大会の実績により、78kg超級は7階級のうち2階級まで適用される2枠目の選出も可能性がある。

前回2位の児玉ひかる(東海大)は2強に割って入れるか。推薦枠で参加できる東京五輪代表勢

朝比奈・富田 V 争い軸

牛方(生2 光学園高)「全力を尽くす」

では、最軽量の48kg級で銀メダルの渡名喜風南(パーク24)と57kg級で銅メダルの芳田司(コマツ)が挑戦。前回初優勝の田中志歩(JR東日本)は出場しない。

徳島県からは、四国地区予選を制した牛方美羽(生光学園高2年)が初出場し、初戦の2回戦で前回5位の井上あかり(JR東日本)と対戦する。172kg、90kgの牛方は積極性と豪快な大外刈りが持ち味。3月の全国高校選抜大会女子無差別級でベスト8入りした。最高峰の舞台を前に「強豪選手も多く出ているので勉強してきた。全力を尽くし、悔いの残らないよう戦う」と意欲を示した。

大会は「有効」を残す以外はほぼ国際柔道連盟(IJF)ルールに沿って実施される。(まとめ・富士佳輝)

では、最軽量の48kg級で銀メダルの渡名喜風南(パーク24)と57kg級で銅メダルの芳田司(コマツ)が挑戦。前回初優勝の田中志歩(JR東日本)は出場しない。